

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

実施 時期	単元名	時 数	単元の到達目標（小単元 のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	1 深まる学びへ	16	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章の種類を踏まえて、物語の展開の仕方を捉えることができる。 ● 学習した語句を文章中で用いて、語彙を豊かにすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ● 情報の信頼性の確かめ方を理解している。 ● 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。 ● 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えている。 ● 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。 ● 聞き取った内容や意見と根拠の適切さを進んで評価し、今までの学習を生かして助言を考えようとしている。 ● 助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして設問に取り組もうとしている。
	2 視野を広げて	9	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報の信頼性の確かめ方を理解している。 ● 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 ● 「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ● 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。 ● 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 ● 「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを伝えようとしている。 ● 進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。 ● 論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書くようとしている。
	3 言葉とともに	8	<ul style="list-style-type: none"> ● 表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分け 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「読むこと」において、俳句の構成や表現のしかたについて評価している。 ● 「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。

1 学期				<p>とを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者のものの見方や考え方を積極的に読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
2 学期	4 状況の中で	10	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ●自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ●具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ●敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。 ●「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ●「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ●「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ●「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 ●「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 ●「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●詩の構成や表現のしかたを積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。 ●文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。 ●目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推敲し、読み手からの助言や、情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。 ●話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして対談しようとしている。
	5 自らの考えを	9	<ul style="list-style-type: none"> ●表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ●具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ●「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。 ●「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ●「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 ●自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見直しをもって批評文を書こうとしている。

2 学期	6 いにしえの心を受け継ぐ	8	<ul style="list-style-type: none"> ●文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ●長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。 ●「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ●「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 ●進んで和歌の表現のしかたについて評価し、学習の見直しをもって自分の評価を書こうとしている。 ●作者のものの見方や感じ方について進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表しようとしている。 ●長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かしてメッセージを書こうとしている。
	7 価値を生み出す	10	<ul style="list-style-type: none"> ●進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ●「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ●「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉や社会、人間などについて粘り強く自分の意見をまとめ、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて話し合ったり発表したりしようとしている。 ●積極的に進行の工夫とその効果を分析し、今までの学習を生かして話し合いの効果的な進め方について考えようとしている。 ●合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見直しをもって話し合おうとしている。
3 学期	8 未来へ向かって	15	<ul style="list-style-type: none"> ●場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ●理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ●話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ●「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ●「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●人間、社会などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。 ●人間、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして文章にまとめようとしている。 ●詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。 ●粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて話し合ったり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりしている。

